

一般社団法人 日本助産学会ニュースレター

巻頭言

地域の力と保健者の連携による健康の改善

～カンボジアでの活動からの学び～

元JOCSカンボジアワーカー 諏訪 恵子(看護師)

私は1992年より2つのNGO²を渡って約17年間、カンボジアで農村地域の住民の健康や女性の人権に関する活動に合計17年間携わった。カンボジアへ渡る前の私は看護学校卒業後、ハンセン病で知られる国立療養所全生園に4年間勤務し、患者さんや医師、先輩看護師、介護人などから「看護の実際」の訓練を受けた。そして、徐々に途上国のハンセン病患者や人々の生活、保健医療や看護のあり方を知りたいと思うようになった。

そんな折、1つ目のNGO³がカンボジアで展開するハンセン病患者ケアを含めた農村地域保健医療活動支援を知り、1992年に療養所を退職し、同年5月にカンボジアへ飛んだ。当時のカンボジアは1970年代の内戦及びポルポト政権による大量虐殺、社会システム崩壊後の新たな国づくりが始まったところで、治安もインフラも未整備だった。国民全体は非常に貧しく、保健医療機関として名と場所は確保されているものの、人材も物資面も不足しており、機能しているとは言いがたい状況で、病んだ人々は自己治療や伝統治療に頼り、保健医療施設へ向かわないことが多かった。ユニセフによれば当時の乳児死亡数が出生数1000に対し110、妊産婦死亡率は出産10万件に対し550と異常に高い数値だった。また、活動地域の村の人々の生活は天水に頼った稲作中心の農業を営み、現金収入は少なく、ほとんど自給自足の生活だった。水道やトイレも無く、生活用水は河川や池や村人の共同で使う僅かな井戸から水を家屋の側に置く水瓶までを運んで使い、一般に排便は林の中で行い、子どもは家屋周囲で用を足すのが当たり前であった。住民の栄養不良も著しく、抵抗力の弱い乳幼児が病気に罹患し、悪化して死亡に至るケースが多かった。

このような異国の貧しい状況下で私は共に活動するチームの仲間と人、物、伝統的な知恵、知識、技術など村が有する資源を出来る限り活かし、強化し、地元の力によって住民の健康の維持と改善、特に疾病の予防と早期対処、女性の安全な妊娠、

出産、産後の回復、乳幼児の正常な成長発達が確保されること目指し、公共の郡病院や保健所のスタッフとも連携して村の保健改善をリードするヘルスボランティア(VHV; Village Health Volunteer)の育成や既存の伝統的助産婦⁴(TBA; Traditional Birth Attendant)への知識と技術の教育を推進した。

その結果、保健医療スタッフもVHVもTBAも住民の健康維持、改善に対するそれぞれの責任感と行動意欲を高め、特にVHVやTBAが村の中でリーダーシップを発揮し、習得した保健の知識と技術を住民に提供するようになった。また、母性保健に関してはTBAと保健所助産師の連携が強化し、妊婦健診の受診者数増加や安全な出産介助、妊産婦の異常を早期に発見、対処が大きく改善された。もちろん、社会状況の変化に伴ってのことではあるが、保健スタッフと住民が一体となって取り組まなければ、健康的な社会は築かれず、継続していかないと思う。ハンセン病だけに留まらないカンボジアの農村地域の人々に対する保健活動を通して、私は人間一人一人が健康改善の実践者になれるようにサポートすることが保健者の大きな役割のひとつであり、それはいつの時代も、どの世界にあっても変わらないことであると確信した。

Japan overseas Christian medical Cooperative Services の略。和名では公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会

² non governmental organization (非政府組織または民間公益団体) の略

³ 「24 時間テレビ」チャリティ委員会カンボジア

⁴ 正式な助産教育を受けてはおらず、助産の資格を持ってはいない。自らの意思で独自に助産介助を行い、経験を積んできた村の伝統的なお産婆さん

一般社団法人日本助産学会
臨時社員総会報告

庶務担当理事 砥石 和子

(事務所)

第2条 本学会は、主たる事務所を東京都豊島区に置く。

・現事務所にある書類の保管場所の質問があり、株式会社ガリレオの事務所の倉庫に保管する。

・本会の独立した事務所がなくなるが、時代に添った事務作業を効率的に行っていくために株式会社ガリレオ東京のオフィスが事務所となる。

・今後、本会が一般社団法人から公益法人になる予定はないが、事務所を業務委託先にする場合は公益法人の場合でも法的には問題ない。

2) 代議員は2年2回まで。理事は2年3期。監事は4年2期となっており、代議員ではない理事が存在することになる。そのため、代議員の任期改正の説明があり、定款第17条の改正案は承認された。新たな条文は、以下の通り。

(任期)

第17条 代議員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、連続して3期までとする。

平成22年度決算書の決議および学会事務局移転等に伴う定款の改定の説明のため、臨時社員総会が開催されたので報告する。

日時：平成23年7月23日(土)13:00～14:00

会場：聖路加看護大学403会議室

〈審議事項〉

議事録署名人の選出を、岡本喜代子社員、多賀佳子社員が推薦され、承認された。

【議案1】平成22年度収支決算

高田担当理事から平成22年度収支決算の報告があり承認された。

【議案2】監査報告

竹内監事から、平成22年度会計及び業務の監査報告があり承認された。

【議案3】定款改正

1) 法人化に伴う会計業務の煩雑さと学会業務の費用等を検討した結果、株式会社ガリレオに事務局学会業務の委託をする。そのため、定款第2条の事務所の改正案の説明があり、第2条の改正案は承認された。新たな条文は、以下の通り。

JAM New Zealand study tour 2012

ニュージーランド視察ツアーのご案内

国際助産協働委員会 毛利 多恵子

国際委員会 加納 尚美

この度、明年の2012年3月24日(土)～4月1日(日)にニュージーランドでの「JAM study tour」を企画いたしました。この企画は、現地「New Zealand College of Midwives」(NZCOM)のご協力により、前回2005年の実施に続くものです。助産師活動、助産師教育、助産に関する制度などニュージーランドから学ぶ機会となればと企画しました。現在、JAMと現地「NZCOM」とは連絡を密にして協力しながら準備を進めております。

詳細は、11月末に学会ホームページに掲載させていただきます。是非、この機会に皆様のご参加を心よりお待ちしております。

ツアー内容予定

*ニュージーランド助産師会(NZCOM)のオーガナイズによる助産師教育機関、病院、施設の訪問

*NZCOMの助産師又は学生とJAMの参加者による合同グループディスカッション

*講演

・NZCOMの変革(歴史の流れ)

・NZCOMの実践(実績)と社会的評価

・教育の理念と実行、それに関係した人による講義等

◆JAM New Zealand study tour2012

日程のご案内(予定)

	日時	東京発着		時間	便名	摘要
1	3月24日(土)	東京(成田)	発	18:30	NZ90	ニュージーランド航空にてクライストチャーチへ
2	3月25日(日)	クライストチャーチ クライストチャーチ クイーンズタウン	着 発着 着	10:00 12:40 13:45	NZ5385	クライストチャーチ乗り継ぎクイーンズタウンへ 着後、市内ショート観光
3	3月26日(月)	クイーンズタウン	滞在			病院・マタニティーユニット視察(終日)
4	3月27日(火)	クイーンズタウン オークランド	発着	09:35 11:20	NZ620	空路、北島のオークランドへ NZCOM訪問、夕食、意見交換会
5	3月28日(水)	オークランド ヘレンスビル	発着	09:00 17:00	バス	NZCOMで講義、北へ向かい訪問地へ 現地Midwives、学生を交えて昼食会 午後Birthcare訪問
6	3月29日(木)	ヘレンスビル ワンガレイ	発着	09:00 17:00	バス	Workworth マタニティーユニット視察・ 訪問、意見交換
7	3月30日(金)	ワンガレイ (カワカワ訪問)	発着	09:00 17:00	バス	カワカワのMidwives訪問 ワンガレイ泊、夕食 :意見交換会
8	3月31日(土)	ワンガレイ オークランド	発着		バス	ワンガレイより北の景勝地ワイタンギ・レ ッセルを訪れながらオークランドへ
9	4月1日(日)	オークランド 東京(成田)	発着	08:30 16:40	NZ99	ニュージーランド航空にて帰国の途へ

お取り扱い旅行代理店:

株式会社 ケイ・コンベンション

(東京都知事登録旅行業第一5114号)

〒160-0022東京都新宿区新宿1-24-7-313

TEL:03-5367-2382 FAX:03-5367-2187

担当: 中野 泉、荒木 憲治

Email: araki-ken@k-con.co.jp

ご参加について

◆募集人数 : 30名(定員になり次第締め切らせていただきます)

◆申込み締切り日: 2011年12月24日(土)

*FAXにてお送りください(FAX:03-5367-2187)。

◆参加費用 : 現在検討中、11月下旬に学会ホームページ上に料金を表示いたします。

* NZCOMへ企画経費、講師謝金、通訳料金、旅行者手数料、訪問先謝品代、旅行保険代なども含

まれます。なお学会主催ツアーのため全員こちらで指定する海外旅行保険に入ってくださいことが条件となります。

◆事前学習会の案内 : 参加者の方々、または関心のある方を対象に勉強会を1月末に開催予定です。

詳しくは学会ホームページに11月下旬にご案内をします。12月別途お申し込みください。

【お伺い書/ JAM New Zealand study tour 2012】

フリガナ 氏名			旧 姓	生年月日		年	月	日
				性別		男・女		
パスポートの英文名:								
フリガナ 現住所	〒							
	電話(携帯):				FAX:			
E-Mail								
勤務先								
英文名								
勤務先 住所	〒							
	電話:				FAX:			
旅券	有・無	旅券番号			発行年月日	年	月	日
	(<input type="checkbox"/> 現住所と同じ / <input type="checkbox"/> 下記)				電話:			
渡航中 の 連絡先	住所:							
	氏名:				本人との関係:			
航空会社マイレージ	ニュージーランド航空のスターアライアンの航空会社名をご記入下さい(全日空など)						カード番号	
ご 希 望 事 項	1. 発着空港 : <input type="checkbox"/> 成田 <input type="checkbox"/> 大阪 <input type="checkbox"/> 福岡 <input type="checkbox"/> 名古屋 <input type="checkbox"/> その他()							
	2. 航空機 : <input type="checkbox"/> エコノミークラス <input type="checkbox"/> ビジネスクラス <input type="checkbox"/> 窓側 <input type="checkbox"/> 通路側(ご希望に添えない場合がございます。予めご了承下さい)							
	3. ホテル : <input type="checkbox"/> 1人部屋希望 <input type="checkbox"/> 2人部屋希望(同室希望者:)							
	4. 書類送付先 : <input type="checkbox"/> ご勤務先 <input type="checkbox"/> ご自宅							
	5. その他ご希望 :							

パンフレットに記載の旅行条件および旅行手配の為に必要な範囲内で運送・宿泊機関、その他への個人情報の提供について同意の上標記研修の旅行に申し込みます。

上記の個人情報取り扱いに関する事項について、同意する方は「同意する」にチェックをしてください。

同意する 同意しない

*この用紙をコピーしていただき FAXにてお送りください (FAX:03-5367-2187)

第8回日本周産期メンタルヘルス研究会 学術集会開催のご案内

日本周産期メンタルヘルス研究会事務局

この度、第8回日本周産期メンタルヘルス研究会学術集会を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

第8回日本周産期メンタルヘルス研究会学術集会
会長 東京女子医科大学附属女性生涯健康センター所長・教授 加茂登志子

日本周産期メンタルヘルス研究会代表 三重大学保健管理センター・大学院医学系研究科 教授 岡野禎治

開催日時：12月3日(土) 10:00～17:00

12月4日(日) 9:30～15:00

場所：東京女子医科大学 弥生記念講堂 他

プログラム：

12月3日(土)「災害時の周産期メンタルヘルス」

一般演題

特別講演「東日本大震災の現場から～災害時の妊産婦ケア」

教育講演「子どもの悲嘆とケア」

シンポジウム「東日本大震災と周産期メンタルヘルス」

12月4日(日) 研修会

第1部「希死念慮のある妊産褥婦への支援」

第2部「EPDS(エディンバラ産後うつ病自己評価票)の基本的な使用方法」

プログラム、参加費等の詳細は日本周産期メンタルヘルス研究会HP<<http://www.hac.mie-u.ac.jp/PSIJAPAN/>>にてご確認ください。

申込み・問い合わせ先：

第8回日本周産期メンタルヘルス研究会学術集会
開催事務局

東京女子医科大学

附属女性生涯健康センター 長谷川・酒井
〒162-0056 東京都新宿区若松町9-9

パークホームズ新宿若松町1F

Tel：03-5363-0723 Fax:03-5363-0802

E-mail: shusanki@iwh.twmu.ac.jp

事務局移転のお知らせ

一般社団法人日本助産学会事務局

学会業務委託のため、事務局を「株式会社ガリレオ 学会業務情報センター内」に移転することとなりました。

今後の連絡先は下記のとおりですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

〒170-0004

東京都豊島区北大塚3-21-10 アーバン大塚
3階

株式会社ガリレオ 学会業務情報センター内
一般社団法人日本助産学会

TEL:03-5974-5310 FAX:03-5907-6364

ICM募金について

一般社団法人日本助産学会事務局

本学会では下記の募金を受付けています。
会員の皆様の暖かいご支援とご協力をどうぞ
よろしくお願い申し上げます。

☆ICMスポンサー・ア・ミッドワイフ(国際基金)☆
発展途上国の助産師の参加用援助としての募金です。

一口 2,000円

郵便振込振替口座番号:00190-8-710931

加入者名:日本助産学会国際基金

☆ ICMセーフマザーフード基金 ☆

世界で妊婦死亡率および罹病率が最も高い地域における助産知識の発展を支援する募金です。

一口 1,000円

郵便振込振替口座番号:00240-8-6818

加入者名:日本助産学会

ICMセーフマザーフード基金

事務局からのお知らせ

お知らせ事項	内容	方法・連絡先等
<p>今年度 平成23年度 年会費 (10,000円) 納入について</p>	<p>今現在お振込みがまだお済でない方は、早急に右記まで、<u>氏名・会員番号等を通知の上</u>、お振込みをお願いします。 郵便振込み先および銀行振込み先は、右記の通りです。</p> <p>学会誌投稿(共同研究者含)、学術集会演題応募(共同研究者含)、研究助成応募(研究代表者)等は、会員で該年度の会費納入済みが条件になります。応募される場合は、お早めに会費納入をお済ませの上、お申し込み下さい。</p> <p>会費納入が遅れますと学会の諸情報の送付が滞りますのでご注意ください。</p> <p>会費納入・会員番号等に関してご不明な時は、事務局までお問い合わせ下さい。</p>	<p>★郵便振込★ 口座記号番号:00120-2-763540 加入者名:一般社団法人日本助産学会(シャ)ニホンジョサンガツカイ <u>通信欄に会員番号と納入年度を明記</u></p> <p>★銀行振込★ ゆうちょ銀行(9900)〇一九(ゼロイチキョウ)店(019)(当座)0763540 一般社団法人日本助産学会(シャ)ニホンジョサンガツカイ 氏名と会員番号を明記</p>
<p>変更届 について</p>	<p>住所・姓・所属先に変更がありましたら、その都度必ずお早めにお知らせください。</p> <p>学会誌等送付にはクロネコメール便を利用しますので、郵便局に転送届けをしても届かない場合があります。また、郵便受けに表示がない場合も届きませんので、お名前前表示も合わせてよろしくお願ひします。</p> <p>学会誌等が届かないような場合は事務局までご一報ください。</p>	<p>【連絡方法】 変更届や退会届の書式は問いません。Fax・はがき・Email等に明記してお知らせ下さい。</p> <p>また、本学会ホームページから、「変更・退会届」の書式がダウンロードできますのでご利用下さい。</p>
<p>退会時の ご注意</p>	<p>退会を希望する場合は必ずご連絡ください。次年度から退会希望の方は、必ず1月末までに退会届のご連絡をお願いします。退会連絡がない限り会員継続となり、年会費をお納めいただくこととなります。特に口座引き落としご利用の方で退会希望される方はご注意くださいのですが、会費納入後の退会の会費についてはお返しできません。納入年度の学会誌等は送付します。十分にご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。</p>	<p>【申込方法】 本学会ホームページから申込書をダウンロードして、FAX・E-mailに添付送信してください。</p>
<p>学会誌 バックナンバー 販売のお知らせ</p>	<p>それぞれ在庫に限りがありますのでご希望に添えない場合はご容赦願ひます。送料は申込者負担です。</p> <p>*日本助産学会誌バックナンバー: 第20~24巻 2,500円/部,第25巻1号以降 3,500円/部 無料配布しておりました第19巻以前に関しては、すでに在庫がありませんのでご了承下さい。</p>	<p>【申込方法】 本学会ホームページから申込書をダウンロードして、FAX・E-mailに添付送信してください。</p>

☆上記についてのお問い合わせ先 ☆

一般社団法人日本助産学会事務局

〒170-0004 東京都豊島区北大塚3-21-10 アーバン大塚3階
株式会社ガリレオ 学会業務情報センター内
一般社団法人日本助産学会

TEL:03-5974-5310 FAX:03-5907-6364

E-mail : g019jam-mng@ml.gakkai.ne.jp

JAMホームページ: <http://square.umin.ac.jp/jam/>

円滑な事業推進のため、
ご協力のほどよろしく
お願い申し上げます。